



<b>教育事業名</b>	平成27年度 <h1 style="text-align: center;">黒潮チャレンジキャンプ</h1>														
<b>事業の趣旨</b>	足摺から室戸岬まで、黒潮の流れに沿って自転車での旅。仲間とともに困難に立ち向かい、様々な体験を通して、自己肯定感や社会の「生きる力」を育むことを目的とします。														
<b>対象者</b>	中学生・高校生														
<b>実施期間</b>	平成27年 8月21日(金)～平成27年 8月25日(火) 4泊5日														
<b>参加者 (人数/定員)</b>	10名/18名														
<b>活動プログラム</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">8月21日[金]</th> <th style="width: 20%;">8月22日[土]</th> <th style="width: 20%;">8月23日[日]</th> <th style="width: 20%;">8月24日[月]</th> <th style="width: 20%;">8月25日[火]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <b>開講式</b>            マウンテンバイク            (土佐清水市～                              黒潮町)            ミーティング(目標設定)         </td> <td>           マウンテンバイク            (黒潮町～                              中土佐町)            夕食作り            ミーティング         </td> <td>           朝食作り            マウンテンバイク            (中土佐町～                              香南市)            ミーティング         </td> <td>           マウンテンバイク            (香南市～                              室戸自然の家)            生還パーティー            ミニキャンプファイヤ         </td> <td>           あとかたづけ            ふりかえり            閉講式         </td> </tr> </tbody> </table>					8月21日[金]	8月22日[土]	8月23日[日]	8月24日[月]	8月25日[火]	<b>開講式</b> マウンテンバイク (土佐清水市～ 黒潮町) ミーティング(目標設定)	マウンテンバイク (黒潮町～ 中土佐町) 夕食作り ミーティング	朝食作り マウンテンバイク (中土佐町～ 香南市) ミーティング	マウンテンバイク (香南市～ 室戸自然の家) 生還パーティー ミニキャンプファイヤ	あとかたづけ ふりかえり 閉講式
8月21日[金]	8月22日[土]	8月23日[日]	8月24日[月]	8月25日[火]											
<b>開講式</b> マウンテンバイク (土佐清水市～ 黒潮町) ミーティング(目標設定)	マウンテンバイク (黒潮町～ 中土佐町) 夕食作り ミーティング	朝食作り マウンテンバイク (中土佐町～ 香南市) ミーティング	マウンテンバイク (香南市～ 室戸自然の家) 生還パーティー ミニキャンプファイヤ	あとかたづけ ふりかえり 閉講式											
<b>活動の様子</b>	<p>(1日目)</p> <p>高知市内で全参加者がバスに乗り、足摺岬までの移動中に車中でグループリーダー中心に初対面の仲間とグループ内での自己紹介や目標設定を行った。足摺岬到着後、ジョン万次郎少年像前で開講式を行った。出発地の四万十市まで移動後、一人一人のマウンテンバイクの調整し、グループごとに元気に出発。気候にも恵まれ、予定通り30kmを走破し、宿泊地幡多青少年の家に到着した。夕食後のミーティングでは参加者一人一人の目標と各グループの目標を設定した。</p>  <p>(2日目)</p> <p>快晴の下、幡多青少年の家を各グループごとにマウンテンバイクで出発し、中土佐町を目指した。心配していた登り道の連続だったが、各グループごとにペース配分を考えたり励まし合ったりしながら走破し、全員が頂上の七子峠からの眺望を楽しんだ。宿泊地中土佐町人権啓発センターに到着後、海水浴を楽しむ予定だったが、海が荒れていたため断念し、近くの川で体を冷やした。夕食後、浜辺に降り潮騒を聞きながら、グループごとに花火を楽しみ親睦を深めた。</p>  <p>(3日目)</p> <p>早朝から荷物をまとめた後、自分たちで作ったおにぎらずを食べながら、一日の行程を確認した。出発地の道の駅かわうその里すさきまで移動後、マウンテンバイクに乗り、グループごとに出発。海岸線の曲がりくねった道と何度も訪れる登り坂に心が折れる参加者も多か</p>														

ったが、グループ内で励まし合う場面も多く見られるようになった。目的地の龍馬像に到着後、目的地を伸ばして南国市までマウンテンバイクで進んだ。予定よりも距離を伸ばし約50kmの行程となったが、リタイヤする者もなく全員で宿泊地の県立青少年センターに到着した。班別ミーティングでは一日の行程を振り返り、翌日ゴールに向けてのペース配分を話し合うとともに、互いの成長を認め合う話し合いが行われた。



(4日目)

青空が広がる気持ちの良い朝を迎えたものの、海上では台風が接近してきていて海は荒れ模様。そのため予定していた途中区間の船の移動を変更し、バスでの移動に。道のりも当初の予定47kmから約55kmに延長。これまで三日間の疲労もずいぶん溜まっている様子だったが、距離の延長にも全員望むところと意気揚々。この三日間で随分自信をつけた感じが



られた。気持ちの良いサイクリングロード区間を快走し、順調に中間点の安芸市に到着。室戸市内に入り、目指す中岡慎太郎像まで10km足らずとなったところで、走行ペースで意見が対立するグループがでたが、グループリーダーが見守る中、参加者同士で自分の意見を伝え合い、お互い納得することができた。室戸岬先端の中岡慎太郎像に全員到着し喜びを分かち合った。



夜の生還パーティーでは、四日間の楽しかった思い出を語り合いながら大いに盛り上がった。その後のミニキャンプファイヤでは、各グループごとに小さなたき火を囲み、静かな雰囲気の中自分の心をオープンにして四日間の旅を振り返り、苦しかったときにかけてもらった一言や言えなかった本音を伝え合うことができた。

(5日目)

台風が近畿方面に上陸し、朝から強風で全員の帰路が心配される中、四日間旅をともしたマウンテンバイクの整備を行った。車体やチェーンをきれいにし、ブレーキやギア、タイヤの空気圧などを調整し、道具への感謝の気持ちも表した。振り返りの時間では、落ち着いた雰囲気の中、自分自身や周囲の変化に思いを馳せた。全体発表では自分の思いを素直に言葉にし、グループの仲間やリーダーへの感謝の言葉や自分や仲間の言動の変化を認める言葉がたくさん聞かれた。閉会式では、完走賞が全員に授与され、各方面に分かれていく仲間とお別れをした。

#### 事業の成果

参加者の多くが参加の動機として“240kmの道のりは大変だと思うが、その大変なことを仲間とともに克服することで、何かが得られるのではないか”という趣旨のことを挙げていた。一日一日、目標を達成するごとに、仲間と協力する場面やリーダーに頼らず自立する場面が多く見られるようになってきた。最後の振り返りでは、“最初はこのメンバーでやっていけるのかと心配していたが、日毎に心が通うようになり、最後はみんなで大きな声で

	<p>励まし合いながらゴールを目指すことができた。四日間で自分の殻を破って、自分の気持ちを素直に表現できるようになった。”、“240kmなんて距離は絶対無理だと思っていたけど、みんなで励まし合いながら頑張ったら全員ゴールできて、自分も仲間もすごいなと思った。”という感想を述べている。今回は240kmという距離を前面に出し、課題克服の難易度を客観的に数値で表すことで、参加者各自のこれまでの経験と照らし合わせて難易度の高さを実感させることができたのではないかと思う。達成困難と思われるプログラムを成し遂げて自己肯定感を高めることができたことや、仲間との共同生活を通して社会性や協調性を感じることができたことは、事業の趣旨が達成されたものと考えられる。</p> <p>事業の運営に関わった法人ボランティアは、企画段階から積極的に参加に関わってきた。参加者がよりよく成長するために、どのような課題設定をし、どの程度自主性を尊重すれば良いのか検討することができた。また、実際の五日間では参加者と一番近いところで関わり、参加者の表情や言動の変化から大きな心の成長を感じることができていた。このような事からも参加者だけでなく、法人ボランティアにとっても体験を通して生きる力を育む“やりがい”のある事業となった。</p>
<p><b>事業の課題</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 募集定員の確保。</li> <li>・ 実施時期の調整。</li> <li>・ 安全面の確保。距離を伸ばすことで、危険な道路も多くなり、結果的にバスでの移動を余儀なくされるところもあった。</li> <li>・ グループごとの自主性を高めるためグループ間の距離が開いた。結果的に水分等の補給が十分にできない区間ができた。</li> <li>・ 毎日の振り返りを大切にしたが、時間が掛かり参加者の休息時間を圧迫する日もあった。</li> </ul>
<p><b>参加者の感想</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ チラシのキャッチフレーズを見て、簡単ではないことに全力に取り組み、それを乗り越えた先を見たかったから参加しました。</li> <li>・ 2度目の参加で、一年ぶりに会えた友達もいて嬉しかった。5日間を終えて、さらに新しい友達ができ、参加してよかった。</li> <li>・ 昨年度参加して、自分の力でゴールできなかったのが今年こそは全て自分の力でゴールしたいと思って参加しました。一日目から苦しかったけど、今回は体調管理も意識して行い、最後まで自分の力でゴールできた。来年は受験で参加できないので、最後にいい思い出ができました。</li> <li>・ 体調が悪く班のペースについて行けず班のペースを乱すこともあったけど、みんなでペースや休憩のタイミングを話し合っ、最後はみんなとゴールできて嬉しかった。</li> <li>・ 一日目はリーダーが一生懸命声を出していたけど、夜のミーティングで話し合っ、翌日から一人一人が声を出して盛り上げていけたのでよかった。</li> <li>・ 最初は嫌なことも我慢して何も言わなかったけど、だんだん慣れてきてお互いに思っていることが言い合えるようになって、最後は仲良くなれた気がする。</li> <li>・ 3度目の参加だけど、今年は距離が何倍にもなっていて、初めは完走できないと思っていたけど、全員完走できて驚いた。</li> <li>・ ゴールした後、班ごとに小さな火を囲んで行った振り返りで、お互いに思っていたことが聞けて、案外みんな同じ事を考えていたんだなと思った。</li> <li>・ 来年はどんなキャンプになるか分からないけど、来年も挑戦して絶対に完走します。</li> </ul>